



☆☆ ☆特集記事



◆◇◆道路整備特別措置法及び独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法の一部を改正する法律について◆◇◆

(国土交通省 道路局 路政課)

今般、高速道路等の料金を徴収する道路の適正な管理及び機能の強化を図るため、道路整備特別措置法及び独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法の一部を改正する法律（令和5年法律第43号）が本年5月31日に成立し、同6月7日に公布・施行されましたので、その背景や内容について紹介します。



☆☆ ☆高速道路会社の取り組み



◆◇◆サイクリングによる瀬戸内圏の魅力創出・対流促進◆◇◆
～Setouchi Velo 協議会の設立と今後の展開～

(本州四国連絡高速道路株式会社 地域連携部)

当社では地域連携の取組の一つとして、サイクリングによる地域発信を行っている。本稿では瀬戸内圏8県や地方整備局など約30の団体から始まった「Setouchi Vélo 協議会」設立の背景やその目的、今後の目指す姿を協議会事務局の立場から紹介していく。



☆☆ ☆TOPICS ○○○。.. ○○○。



◆◇◆社会実験「佐賀駅南テラスチャレンジ」について◆◇◆
= 実験の風景を日常の風景へ 佐賀県の挑戦 =

(佐賀県 県土整備部 まちづくり課)

佐賀駅南の道路において車線を減らし歩道幅員を広げ、歩行者中心の道路空間をつくるにあたり、①車線減少による道路交通上の支障が無いか、②整備後に道路活用のニーズがあるか、という2つの課題を検証することを目的として、職員直営で実施した社会実験の内容をご紹介します。



☆☆ ☆地域における道路行政に関する取組み事例



★北海道におけるサイクルツーリズムの推進★・*:.。

(北海道開発局 建設部 道路計画課)

北海道開発局では、アジアの中でも特徴的で魅力的な北海道の観光資源を活かしながら、サイクリングを楽しめる環境を高めていくため、安全で快適な自転車走行環境やサイクリストの受入環境の改善、情報発信等の取組を推進しています。本稿では、その取組み状況についてご紹介します。



★A I による橋梁インフラ点検・診断システムで橋梁点検をスマートに★°・*:.。

(山口県 土木建築部 道路整備課)

山口県では、橋梁点検を高度化・効率化することを目的に、「AI による橋梁インフラ点検・診断システム」を構築しました。システムの活用により、診断精度が向上し、点検にかかる作業時間が約 2 割効率化されます。

本稿では、県内市町でも活用可能としている本システムの概要についてご紹介します。



★常盤通りウォーカブル化に向けた社会実験について★°・

～TOKIWAIKOT2 (ときわいこつと。2)～

(宇部市役所 都市政策部 中心市街地活性化推進課)

宇部市の常盤通り(国道 190 号)では、沿線にある市役所庁舎の建て替えなどの事業に合わせ、「居心地がよく歩きたくなる」まちなか空間の形成を目指すため、歩道や副道の一部を活用したウォーカブル化に取り組んでいます。本稿では、令和 4 年度に実施したウォーカブル化に向けての社会実験「TOKIWAIKOT2」の概要についてご紹介します。



○○○。お知らせ。○○○。

☆☆★「気持ちいい 道路であいさつ にっこにこ」☆☆★

～令和 5 年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品を決定しました～

(国土交通省 道路局 道路交通管理課)

国土交通省では、「道路ふれあい月間」の活動の一環として、道路の役割・重要性につい

て改めて認識していただき、道路を常に広く、美しく、安全に利用していただくことを目的に、推進標語を広く一般から募集しました。推進標語審査懇談会における厳正な審査の結果、応募総数 2, 950 作品の中から、[小学生の部] [中学生の部] [一般の部] の部門毎に、最優秀賞 1 作品ずつと優秀賞 2 作品ずつの計 9 作品が選定されました。

「 「 「 「 _____

「 「 ☆編集後記

.....

7月になってから、気温が高い日が続いたこともあり、身体が追い付かず、疲れが溜まってきました。そして、今夏も厳しい暑さになると予報が出されていることから、できるだけ健やかに涼しく過ごしたく思っています。以前、布で編んだ草履をいただき、スリッパの代わりとしてひと夏履いてみたところ、足元が涼しく、とても心地良く過ごすことができました。手作りとのことだったので、いつか編んでみたいと思っていたところ、教えていただく機会に恵まれました。

室内であっても、草履を履いて歩くと、足の指や裏の筋肉を使うので、歩き続けることで自然に鍛えられます。足の指が鍛えられると、足の指が浮いた状態である浮指の症状が改善され、指の形も整い、見た目も美しくなるそうです。そして、足の裏の筋肉が鍛えられると、土踏まずが形成されるとともに、身体の重心のバランスも改善されるため、自ずと姿勢が良くなります。また、鼻緒を足の指で挟まないと上手に歩けないため、足全体の運動によって血流が良くなり、冷え性やむくみが改善されます。さらには、足に合わない窮屈な靴を履くこととなる外反母趾ですが、その痛みに悩む方が多いと聞きます。布草履は、つま先からかかとまで締め付けられることがないため、外反母趾の予防になります。

履くと身体に良いことがたくさんある布草履。Tシャツや浴衣/着物など、着なくなった服の布を材料とすることが多く、環境に優しい履物としても注目されているようです。

作り方を文字のみで表現することは困難なのですが、足の裏に接地する土台や、鼻緒・前緒の芯には、ビニールロープを用います。ビニールロープを3か所に掛け、足の裏に接地する土台を作ります。ビニールロープを足の指に引っ掛けて編み進めることができますが、木などで作った道具があると足が疲れずに編めます。そして、この土台に、5~6cm幅に裁断し両側から内へ4つ折りにした布を編み込んでいくことで布草履の形が出来上がっていきます。ここまでは順調であったものの、鼻緒部分の編み込み方が理解できず、中断してい

ます。現時点では、片足分も完成していないため、今夏に履けるよう編み進めることができるかわかりませんが、必ず習得し、着なくなってしまった衣類を活用できればと思っています。(U)